

2022年度 あいさつ課について

あいさつ課の目的

- ・あいさつによる、明るく前向きな職場づくり
- ・あいさつ課における活動を通じた新規採用職員の自己PR
- ・あいさつ課における活動を通じた新規採用職員の研修

須坂市役所の理念 (抜粋)

- ・私たち職員は、自然豊かな風土や伝統ある歴史を受けつぎ、須坂市の限らない発展を目指し、市民の皆さまと共に歩み、信頼され活気ある日本一の市役所づくりを目指します。

- ・基本方針1
心のこもった笑顔とあいさつを励行します。

引用元 <https://www.city.suzaka.nagano.jp/contents/item.php?id=592424a92f7c8>
<https://www.city.suzaka.nagano.jp/contents/item.php?id=591522467e012>

2022年度 あいさつ課スローガン



わ こんにちは輪 すぎか ～あいさつに多様性を～

- ・あいさつで市役所内外の皆さまをつなぐ輪を作りたい
- ・多様な方法・場所でのあいさつを実践したい

2022年度あいさつ課の活動報告

須坂市あいさつ課

* あいさつ課について

須坂市では、新規採用職員が自主的に活動する「あいさつ課」を2016年度から開始し、2022年度も新規採用職員28名とサポート役の係長1名による活動を実施しました。あいさつを通じた様々な取組みによる研修を通して、明るい職場づくりや能力の向上、同期の連携強化を図りました。

※使用しているスライドの完全版をホームページからご覧いただけます。
(市HPあいさつ課について)



広報班

広報班では、Twitter投稿に注力しました。前年度から開始したTwitter投稿ですが、市役所外、さらには須坂市外へも発信できること、なかなか活動に参加しづらい保育士・消防士・現地機関の職員も投稿しやすいことから、今年度は当番表を作成して全員投稿を行いました。投稿内容は完全に個人任せ。それぞれの魅力が溢



広報班

目標：Twitter全員投稿（28名）

【目的】

- 市役所外へもあいさつを届ける
Twitterを活用してあいさつ課や須坂市に関する情報を発信する。SNSは影響力が大きく、活動量以上の効果を得られる可能性があり、感染症による対面活動の制限も受けない。
- 全員参加の活動をする
個人かつすまじま時間に活動できるTwitter投稿を通して、全員があいさつ課の活動に参加した実績をつくる。
- Twitter投稿方法を理解する
今後の業務での投稿を想定し、研修としてのTwitter投稿を実施する。

広報班

結果：全員投稿達成！

フォロワー26名→143名（2023/3/1時点）

◎保育士、消防士、現地機関の職員も投稿しました。

広報班

いいね数トップ3（2023/3/1時点）

- ♡49 732回再生
- ♡48 1105回再生
- ♡46 1456回表示

れ出た個性的なアカウントになりましたので、ぜひご覧ください。広報班メンバーは、市のキャラクターかんちゃんや臥竜公園や笠鉾会館へ撮影に向き、動画作成にもチャレンジしました。次は何を投稿しようかと毎日ワクワクした日々で、とっても楽しかったです。課長！広報係へ異動させてください！

（あいさつ課 Twitter）



広報班

振り返り

- 1人残らず、あいさつ課全員参加の活動ができた
- Twitterの投稿方法を知ることができた
- 市内外へ須坂市の魅力を発信することができた、ぜひ訪れてみたいというコメントを多数いただいた

来年へ向けて

- あいさつ課職員によるTwitterの継続

②活動報告 第一回駅前あいさつ運動

日時 10月11日(火)
午前8時～8時30分
(信州あいさつの日)
場所 須坂駅2階出入口
参加者 あいさつ課5名
アルクマ、かんなちゃん



結果

- ・ 駅員さんより「改札を出るお客様の顔が明るかった!」
 - ・ 掲示板・Twitterで活動を周知、広報
- 反省点
- ・ ポスターやのぼりを忘れてしまい謎のあいさつ集団に...

②活動報告 第二回駅前あいさつ運動

日時 2月8日(水)
午前8時～8時30分
(こんにち輪(8)の日)
場所 須坂駅周辺3か所
参加者 あいさつ課15名
三木市長、(株)酒井商会
(サカレンジャー)
アルクマ、かんなちゃん

結果

- ・ 事前告知
掲示板、Twitter、駅構内ポスター掲示
- ・ 当日
たすき着用、のぼり・ポスターの掲揚
- ・ メディア掲載
SBC、須坂新聞、Goolight、Yahooニュース他



あいさつ運動実施場所



②活動報告 伊東市視察

伊東市のあいさつ活動

H22～伊東市あいさつ運動市民一斉活動を開始。
R1は、夏65団体1,854人、秋60団体1,915人が参加した。
あいさつ運動賛同団体を募集し、R4時点で161団体が賛同している。



③まとめ

活動実績

- ・ 駅前あいさつ運動：2回
- ・ 先遣地視察：1回

周知・広報

- ・ 掲示物作成(須坂駅掲示)：6枚
- ・ Twitterアナリティクス(遠征班関連)
- ・ 新聞掲載：2回、テレビ放送：2局
須坂新聞、Goolight、SBC、伊豆新聞
- ・ ネット記事：多数(Yahoo!ニュース、gooニュース、TBSニュース他)

Twitterアナリティクス合計値(3/1時点)

	投稿数	いいね	リツイート	インプレッション	エンゲージメント
合計	11	190	42	15,588	976

スマホ等に表示された数 興味を示した数

今年度の活動により

- ・ 駅利用者⇒家族・知り合いへ
- ・ SNSやメディアで市外へ発信
⇒市内外であいさつ課の認知 ↑

* 遠征班

遠征班では、あいさつ課で初となる、庁外での活動に力を入れました。

職員だけでなく、市民の皆様にもあいさつ課の活動を認知していただき、あいさつの気持ち良さ、素晴らしさを広めていただき、あいさつすれば良いか。自然に笑顔になる工夫をした須坂駅前あいさつ運動



や、市民一斉あいさつ運動をしている自治体への先進地視察、広報活動として、SNS投稿やマスメディアへの掲載。全て手探りで大変でしたが、話し合い実践に移すことで、多くの方から協力を得ることができました。

沢山のことを学び、とても良い経験をする事ができました。

朝の登庁時などに、庁舎前で職員に向けて行うあいさつ運動。実はこの活動、「ちよつと苦手…」と逃げて行ってしまふ職員もけっこういるのです。でもそれも大切なメッセージ。あいさつを根付かせるためには、自然とあいさつが出ちゃうような環境づくりが大切。そのために、アンケート調査を通じてあいさつの本質を考え、それを共有していきたい。なんて難しいことを考えていましたが、バタバタし

* 調査班



～全員参加のあいさつ運動～

目的 あいさつに関するアンケート集計結果を踏まえ、理事者・部長にもご協力をいただき、「全員参加のあいさつ運動」を行うことで、庁内全体のあいさつを促進する。

実施期間 2022年9月～11月の8のつく日

2022年9月28日(水) 10月18日(火) 10月28日(金) 11月8日(火) 11月18日(金) 11月28日(月)

いずれの日程も下記の時間で実施
朝 8時00分～8時30分
夕方 17時15分～17時30分

※理事者及び部長職の方は初日と最終日を除く4日間のみ参加



内容 ・実施場所 本庁舎職員通用口・東庁舎職員通用口・あいさつ道路 (各箇所4名程度を配置)
・出席者 新規採用職員 22名 理事者及び部長職 13名



アンケートについて

目的 ・あいさつに関する考え方について職員の意見を聴くため
・あいさつ課の活動の前後で職員の気持ちの変化を把握するため

集計期間 第1回 2022年8月23日～9月3日 回答者142名
第2回 2023年2月16日～2月28日 回答者151名

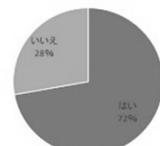
対象者 会計年度職員を含む全職員

方法 第1回 ながの電子サービス(グループウェア 掲示板)
第2回 ながの電子サービス(グループウェア 掲示板 閲覧)

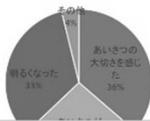
アンケート結果から

2 あいさつ課の活動による変化

あいさつ課の活動を見て、あいさつに対する気持ち・行動等に変化はありましたか？



「変化した」と答えた人へどのように変化しましたか？



・初めに戻った。
・職場が明るくなった
・あいさつは関係づくりの第一歩だと実感する。
・あいさつについて深く考えるようになった。
・あいさつのおお切さを再確認した。

ていていつのまにかタイムオーバー。周りの人と関わる気持ちが薄れると、あいさつも薄れていくものだと感じます。あいさつは現象として見えるものですが、その「おはよう」の裏には様々な思いが隠れているはず。現在執筆している今日は月曜日。朝早くから出勤して仕事に立ち向かうみんな、すごいなあと思いながらの「おはよう」が今日の私の「おはよう」でした。

どんな日でも、あつという間の人生の中の、大切な一日のはじまり。大切にしようと思うようになりまし



活動を振り返って

良かった点

- ・ Twitterを活用して活動の周知、須坂市の魅力発信ができた
- ・ 保育士・消防士の方もTwitterを通じて共に活動できた
- ・ 庁外でも活動できた
- ・ 同期とコミュニケーションがとれた
- ・ 酒井社長の講演会は挨拶について改めて考える機会になった

反省点

- ・ 人ごとに活動量の差があった
- ・ 班ごとの活動が主になり、うまく連携が取れなかった
- ・ 年度初めから実際にあいさつ運動を行うまでに時間がかかった
- ・ 初回あいさつ運動、第1回駅前あいさつ運動の際、タスキ・のぼりの準備に手間取った、準備を忘れた

うまくいったこと、課題として残ったことなどありますが、新規採用職員だけの活動を通して同期の仲が深まったことが最大の財産だと思います。特に今年度は同期の人数が多いので、私たちのあいさつ課の活動は終了しますが、同期の連携を活かして須坂市を盛り上げていきたいと思えます。

* 1年間の活動を振り返って

